

| 対談市町名 | 対談項目 | | 各市町長の主な発言内容 | 知事の発言内容 |
|-------|---|-----------------------|---|--|
| 1 津市 | 対談項目1 津波等の震災に対応した津北部地域の県管理海岸堤防の早期事業化 | 白塚・河芸地域海岸堤防の早期改修 | 栗真町屋海岸より北の堤防は、50年以上経過し老朽化している。市管理の漁港部分は来年度、現況調査に入りたいが、県管理部分についてよろしくお願ひしたい。 | この項目については常々、市長や自治会から聞いており、地元の皆さんが強い思いや危機感を持っていることを認識している。市と連携し、国の交付金を活用して早期に対応していきたい。 |
| 2 津市 | 対談項目1 津波等の震災に対応した津北部地域の県管理海岸堤防の早期事業化 | 道路整備と一体化した河芸地域海岸堤防の改修 | 河芸地域海岸堤防と関連する都市計画道路の河芸町島崎町線は、鈴鹿市側の都市計画決定がないため、津市としては計画の見直しを考えている。堤防と道路の合体施工も含めて考えたい。まずは堤防の加速度的整備をお願いしたい。 | まず、堤防の調査事業を行い、道路整備事業とどのように一体化していくか市と議論していきたい。 |
| 3 津市 | 対談項目2 河川災害を未然に防止するための県管理河川のしゅんせつ強化 | | 今回の台風11号と平成23年の台風15号の安濃川の水位を比べると、目に見えて浚渫の効果が出ている。今年度の県の浚渫計画は20,000m3と、昨年度よりずっと少ないが、浚渫量を増やしてほしい。また、田中川は昨年度の浚渫量が当所計画より少なく、市議会でも問題になった。ぜひ浚渫を続けていってほしい。 | 香良洲の高台防災公園に浚渫土砂を受け入れていただき感謝する。浚渫については、優先順位を付けて計画的に考えるようにしている。昨年度は県単の災害砂利採取があったため浚渫量が多かった。今回の台風11号による被害状況を踏まえ、今年度後半の浚渫について市と協議していきたい。 |
| 4 津市 | 対談項目3 現場急行支援システム(FAST)の国道23号及び165号への設置拡大 | | 警察からも実際に効果が出ていると聞いている。三重大学付属病院のある国道23号線への拡充をお願いしたい。また、特に国道23号線をまたぐ、三重会館前、岩田橋、雲出本郷、垂水等の交差点への拡充をお願いしたい。 | 効果があったので、緊急車両支援情報通信システムの導入と併せて、県全体を見ながら、どういうふう導入するか考えたい。導入によって、渋滞や信号無視の増加等の問題が発生することもあるため、相談・検討していきたい。 |

| 対談市町名 | 対談項目 | | 各市町長の主な発言内容 | 知事の発言内容 |
|-------|------------|---------------------------------------|--|---|
| 5 津市 | 対談項目4 | MIE-NETの本格運用に向けた県、市の連携について | 明らかに有効なので、ぜひ進めていきたいが、県の支援を頂きたい。三重大学付属病院等では広域的な受け入れがあるので、できれば県が主体となり広域的に進めてほしい。 | 今年度は本県の他に、佐賀と奈良が実施しており、非常に効果があると聞いている。本県では議会や医師会の関心も高い。他県も参考にして考えていきたい。なお、厚生労働省の基金に、通信費やシステムメンテナンス費を要望している。 |
| 6 津市 | 平成25年度対談項目 | 津ヨットハーバーでの国民体育大会セーリング競技開催に向けた県、市の取組方針 | 日本財団の支援を受けながら、国体会場の条件整備について議論を進めているので、よろしくお願ひしたい。 | 市が努力して、日本財団を活用したスキーム等も考えていると聞いているので、施設老朽化への対応については可能な限り協力したい。 |